

(情報公開と情報共有)

修正① (3/9時点)

(情報公開と情報共有)

第7条 市は、市民の知る権利を尊重し、市政情報を原則として公開するよう努めなければならない。

2 市は、市民との市政情報の共有に努めなければならない。

3 市政情報の管理及び公開の取扱い及び個人情報の適正な取扱いについて審議又は審査する機関の設置に関して必要な事項は、別に条例で定める。

4 市政情報の管理及び公開に関して必要な事項は、別に条例で定める。

5 個人情報の保護に関して必要な事項は、別に条例で定める。

【解説】

本条は、市政に関する情報の公開と共有について定めています。

市政に対する市民それぞれがもつ意見は、市政をめぐる様々な情報から生まれます。(「情報なくして参加なし」ともいわれます。)

第1項では、市民の知る権利を明記し、市政情報が原則として公開であることを規定しています。第2項では、市政情報の共有について規定しています。市からの情報提供（発信）を市民が受け止めることで情報が共有されたこととなります。したがって、市は、女性や子ども、障がいのある方、社会的に弱い立場にある市民であっても誰もが市政に関する情報に容易に接することが出来るよう、情報を提供する対象者への配慮（文字の大きさ、表現方法、提供方法など）を行い、情報を受け止めやすくする工夫が必要です。第3項は「氷見市情報公開・個人情報保護審査会条例」、第4項は「氷見市情報公開条例」、第5項は「氷見市個人情報保護条例」を指します。

修正② (3/13時点)

(情報公開と情報共有)

第7条 市は、市民の知る権利を尊重し、全ての市政情報を公開することを原則とする。

2 市は、市民誰もが市政情報を共有できるよう努めなければならない。

3 市政情報の管理及び公開並びに個人情報の保護に関して必要な事項は、別に条例で定める。

4 市政情報の管理及び公開の取扱い及び個人情報の適正な取扱いについて審議又は審査する機関の設置に関して必要な事項は、別に条例で定める。

【解説】

本条は、市政に関する情報の公開と共有について定めています。

市政に対する市民それぞれがもつ意見は、市政をめぐる様々な情報から生まれます。(「情報なくして参加なし」ともいわれます。)

第1項では、市民の知る権利を明記し、市政情報が原則として公開であることを規定しています。第2項では、市政情報の共有について規定しています。市からの情報提供（発信）を市民が受け止めることで情報が共有されたこととなります。したがって、市は、女性や子ども、障がいのある方、社会的に弱い立場にある市民であっても誰もが市政に関する情報に容易に接することが出来るよう、情報を提供する対象者への配慮（文字の大きさ、表現方法、提供方法など）を行い、情報を受け止めやすくする工夫が必要です。第3項は「氷見市情報公開条例」、第4項は「氷見市個人情報保護条例」を第5項は「氷見市情報公開・個人情報保護審査会条例」を指します。

(情報公開と情報共有)

<第 19 回検討委員会からの修正案>

条文構成

第 7 条 (情報公開と情報共有)

第 1 項・・・市民の知る権利、市政情報の原則公開

第 2 項・・・市政情報の共有

第 3 項・・・「氷見市情報公開条例」「氷見市個人情報保護条例」

第 4 項・・・「氷見市情報公開・個人情報保護審査会条例」

修正②のポイント

(1) 第 1 項

- ・「公開するよう努めるものとする」→「公開することを原則とする。」

(2) 第 2 項

- ・「市民誰もが」を入れ、解説「女性や子ども、障がいのある方、社会的に弱い立場にある市民」につなげる。

(3) 第 3 項

修正①(3/9)の第 4 項、第 5 項をまとめる。

→まとめないほうがよい、という意見もある。

(4) 第 4 項

修正①(3/9)の第 5 項とする。